



議会を変えよう！ 市政を変えよう！



ふじしろ政夫と共に市政を変える会

鎌ヶ谷市東初富5-24-50 TEL・FAX047-445-9144

ホームページ <http://chiba.cool.ne.jp/fuzisiro/>

03年9月号

e-メール masao.fujishiro@zc.wakwak.com



市民の手で、わたしたちの街を！



—ふじしろ政夫—

“自治基本条例”“地域福祉計画”の市民の手による策定の動きが、始ま

りました。ひとりひとりの市民が、これからの鎌ヶ谷の街の姿を描いて創っていく、まさに住民自治のまちづくりが、その一步を踏み出したのです。

街の課題である、「中核病院の公募選定」も終了し、2006年4月の開業に向け、市民との運営委員会（仮称）の中で、小児科、救急、高度、地域医療等といった住民の望む、中核病院をつくりあげていくこととなりました。

また、ハチンコ店フラミンゴ駐車場へのゲームセンター（約500坪）の出店計画への二中学区PTAを中心とした、全市的な反対運動（署名約2万人）の中、9月議会では、教育環境地区への出店規制を含んだ条例づくりが検討されています。“自分達のまちを自分達の手でつくっていく”そんな鎌ヶ谷にしていきたいものです。

第1回自治基本条例策定市民ワークショップ 開かれる

8月21日19時より、まなびいープラザにおいて第1回のワークショップが開かれました。

清水市長からは、まちづくりにおける自治基本条例策定の重要性が語られました。

当日、約60名の市民の熱心なワークショップで、鎌ヶ谷のまちの姿が浮き彫りにされ、次回のワークショップへとつながりました。

次回9月18日19:00から総合福祉センター6階
新しい参加者も可です。多くの市民が参加しましょう。

東葛南部 タウンミーティング

11月15日（土）

13:00から

船橋サブアリーナで、千葉県知事や近隣の市長（予定）も参加し、地域福祉計画を考える集いがあります。

どなたも参加できます。

問い合わせ先

TEL 445-9144

ふじしろ政夫



☆ **ゲームセンター出店反対
署名約2万人集まる**

東部学習センター隣の、パチンコ店ファミンゴ駐車場へのゲームセンター出店について、道野辺小、東部小、第二中PTAの市民が中心になって反対運動がはじまりました。

全市的課題として、市P連、自治会等によって約2万人の署名が集められ、市、議会、警察、業者へと出店反対の要望書が提出されました。

8月6日市長、議長はゲームセンター出店をやめてほしいと業者へ要請。8月12日には、全員協議会が開かれ、9月議会へ向け、市と議会が一丸となって対処していくことが確認されました。

市内の教育環境保護のため、建築規制条例なども視野に入れた検討がなされることと思います。



☆ **鎌ヶ谷の中核病院として
医療法人社団 「木下会」
(代表 徳田虎雄) を選定!**

公募選定委員会が、8月19日社会福祉保健センターで開かれました。予定を上回る傍聴者が集まり、真剣に選定過程を傍聴しました。応募した法人のうちから、「木下会」が全員一致で選定されました。

新鎌ヶ谷に、2006年4月開業に向けて動き出しました。

議論の中で、開業後、医療の質の維持、地域医療のあり方、不採算部門継続の方法など、多くの問題点も指摘されました。これらは、今後市民と共に、運営委員会(仮称)の中で確立担保していくこととその方向性が示されました。

**やめよう住基祓・いらない住基カード!
街頭キャラバン行なわれる**

8.25住基祓本格稼働(ICカード導入)に反対する“どうかつ”の市民が8月17日18日の両日にかけて、松戸、鎌ヶ谷、柏、野田、流山をチラシとポケットティッシュを配りながらリレートークで住基祓の問題点、ICカード導入の危険性を訴えました。



『住基カードを拒否しましょう!』

☆ **「地域福祉計画」で福祉のまちを**

鎌ヶ谷市は、厚生労働省から「地域福祉計画策定モデル自治体」の指定を受け(全国で15市町村)。人としての尊厳をもって住みなれた地域で障害の有無や年齢、性別にかかわらず、自分らしくいきいきと安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指し、市民、行政の協働のもとに、思いやりをもって共に支え合い、助け合う「地域福祉の推進」の仕組みづくりを市民参加(公募)で作りあげていくこととなりました。

(広報8.15参照)

市民なんでも相談

場所 きょうどう事務所トライ
(旧藤代選対事務所)

津久井市議 9月17日・30日

ふじしろ市議 9月3日・24日

時間はいずれも9:00-17:00

気軽に立ち寄ってください。